

## 令和4年度 第2回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和4年10月17日(月) 午前10時から

場所 防府市創業・交流センター 2階会議室

出席委員 11名

欠席委員 3名

事務局 8名

### 1 開会挨拶

#### 【市長】

急激な円安、原油高等に伴う物価高で、経済状況は大変な事態である。国は経済対策をこれから講じられようとしており、注視しているところである。市としても国・県との役割の中でしっかりと対策を講じていく。

9月議会後、市議会から原油高、物価高騰等に対する緊急要望を受け、12月補正予算に向けてしっかりと取り組んでいくこととしている。そうした中で、この会議で、委員の皆様のご意見を参考にさせて頂き、12月補正だけでなく、来年度予算にも反映していきたい。

また、本日は、中小企業振興基本計画の変更案をお示しするので、御意見を賜りたい。これからの中小企業の振興のために、様々な御意見、御協力をお願い申し上げます。

#### 【事務局】

##### ○ 会議成立の報告

14名の委員中、11名の出席で、防府市中小企業振興会議規則第3条第2項の規定に基づき、本会が成立していることの報告。

##### ○ 会議の公開

防府市中小企業振興会議規則第3条第4項の規定により、本日の中小企業振興会議は公開とする旨の報告。

#### 【会長】

コロナ発生から3年になるが、規制も緩和され、海外からの旅行者も増えているようである。一方で、中小企業の取り巻く環境は、円安、エネルギー、人手不足などの問題が山積している。

山口県においては、コンビナート地域を中心にカーボンニュートラルの取組みが進んでいる。大手企業は中小企業等からのしっかりとしたサポートがある場所を選ぶので、カーボンニュートラルを積極的に推進していき、防府市の経済基盤の強化を図るために、今後どうすればよいかご意見を賜りたい。

## 2 防府市創業・交流センターについて

### 【事務局】

～ 防府市創業・交流センターの施設を内覧 資料1 ～

### 【質問】

通信環境等はどのようなになっているのか。

### 【事務局】

1階から3階は全てWi-Fi環境を整え、併せて1階の各ブースには有線も整備しているため、遅滞など利用者が不便に感じないように整備している。

## 3 令和4年度中小企業振興施策の実施状況について

### 【事務局】

～ 令和4年度中小企業振興施策の実施状況について

令和4年度の事業の概要と進捗状況について、8つの目標ごとの事業を一括説明

資料2-1、2-2 ～

意見等

### 【A委員】

「創業支援モデル事業」について、上半期の創業塾を終えたところであり、15名の参加者のプレゼンテーションにおいて、それぞれの計画や決意を発表していただいた。創業を支援するため、この創業・交流センターで、コネク22と一体となって支援していきたいと考えている。

### 【会長】

創業を支援していく一方で、コロナの影響で事業を諦める方も増えているのではないかと。技術を持っている企業などは事業承継を行っていくことも必要。事業承継の目的として、一つには、企業の体力をつけること。もう一つは、中小企業の数が多いと共存できなくなり、弱くなってしまふことから、数を絞っていくことによって利益率を高めていくということがある。

事業承継については、今が良い時期だと思うがいかがか。

### 【B委員】

廃業や事業承継の問題は後継者がいないことである。業績が落ち込んでいても光る技術を持っている企業については、M&Aやスポンサー型の事業再生などで結びつける動きを行っている。

### 【C委員】

M&Aや事業承継については、様々なところでセミナーが開催されていると聞くので、それなりに動いているのだと思うが、多分そこまですまじくないのではないかと。

経営されている方の問題や将来の不安があるなど、なかなか踏み切れないのが実際ではないか。きれいにマッチングすることはなかなかないだろうと思っている。悩んでいる方も多いのだろうけど、そこから先に進まなくて、何をやったらいいのか思いつかないという状況だと思う。

商店街等を見られるとよく分かると思うが、空き店舗が多い。その方たちが事業承継をしなかったかという、大規模店舗の影響で商売が先細りになるから、承継しないで自分たちの代でやめようというケースは結構あると思う。

技術を持っている中小企業は、そこまで多いとは思わない。同業者間で合併という話は素直にいきやすいのだろうと思う。

商店街で言うと、事業承継よりも、新しい飲食店を出すとか、何か新しいことを起こす方に希望があると思うが、現実としてはうまくいかない。せっかく空いているのに、なかなか貸せないなど、いろいろな弊害があるのでそれを何とかするべきだろうと思う。

業種によってM&Aや創業など、色々なパターンがあると思う。

#### 【A委員】

事業承継によって雇用を守るということも非常に重要。現実、C委員が言われたようなことも起きている。一方で、承継はしなければならないけど、どこでどのように行えばよいか分からない小規模事業者は特に多い。そういう意味でも創業・交流センターは重要な意味がある。

事業承継も創業に含む意味合いがあると思うので、創業拠点となるこの施設に相談に訪れるような体制をとれるとよいと思う。

#### 【D委員】

「ほうふ産品販路開拓支援事業」について、産業の業種が限定されていて、例えば、新しい商品を考えて作ったとしても、ふるさと納税の制度では、制度のルールに合致しないため、新しい商品が（返礼品として）登録できないと言われたことがある。もっと外に向けて販売の仕組みが出来ればよいと思う。

#### 【事務局】

ふるさと納税に関しては、返礼品は防府市で作ったものでなければいけないとか、原材料が防府市のものでないといけないというルールが全国一律で定められており、国の基準に従って進めている。

#### 【会長】

販路開拓でうまくいった例、うまくいかなかった例などがあるか。

#### 【E委員】

特に都市圏の販路開拓については、良いバイヤーを見つけるというのが重要で、SNSの発信など、広い範囲でネットワークを持っている方の支援を受けながら販売することで販路

開拓がうまくいった例がある。

#### 【F 委員】

荷受けが遠くの地域になると、そこで事故が起こると事故処理等が大変であるので、取引先は市内や近隣の方が良いと思う。

#### 【副会長】

地域のグローバル化でいうと、フェース to フェースで、ある程度信用が築けるところで、ネットワークを設けると同時に、デジタルトランスフォーメーションで、メタバースなど、かなり進んできている状況であるため、実態としては、お金の取引まではいっていないが、遠くない未来には、DXの時代がやってくるので、そういった準備をしておかなければならないと感じている。

#### 【G 委員】

「人財活躍サポート事業」で、女性や高齢者を対象に相談窓口を開設したということだが、ハローワークでは、圧倒的に高齢者の割合が進んでいる。特に70歳以上の高齢者が5年前よりは1割程度増えている。窓口に来られる方は、高齢者や育児等によりしばらく働いているところから離れている方が数多くいらっしゃる。

そういったことから、この人財活躍サポート事業と協力しながら、セミナーのご案内や、防府市と協力しながら働ける方を応援できる体制を整えることが出来ればと思っている。SNS等が発達しているが、フェース to フェース、顔を会って話したい、目で見たい方も増えているので、両立しながら事業をやっていく必要がある。

#### 【H 委員】

資金調達の円滑化について、事業継続の問題を考えた場合、事業の継承の問題だけではなく、引き継ぐ側は大きく膨らんだ負債も含め、その財務も引き継ぐという観点も強く持って色々な判断をしなければならない。

資金調達の円滑化には、設備投資の資金もあるが、金融は血液であると思うので、地域の中小企業を守っていくという観点では、積極的に活用を。事業継承も、負債を抱えて引き継ぐくらいなら子どもには承継させてはならない、新たに創業した方が良いという判断もある。

#### 【I 委員】

先日の「駅周辺まちなかふれあいマルシェ」では、たくさんのお客さんで賑わっていた。イベントはコロナの関係でできない時期があったが、若者が来ていただけるように、イベントをもう少し開催が出来るようになればいいと思う。

子育て世代の方が何かをしたいという方も非常に多いので、もう少し子育て世代の方が集まれるような施設が出来たらと思う。

## 【会長】

創業支援と同時に事業承継、ただし、事業承継時には色々な問題がある。

販路の問題では、地域企業の体力に見合った販路の開拓が重要である。

また、カーボンニュートラルの問題では、サプライチェーン全体でカーボンニュートラルの達成が重要であり、大手企業だけが100%カーボンニュートラルを達成すればいいのではなく、中小企業を含めて達成しなければならないので、カーボンニュートラルを積極的に推進していき、防府市の経済基盤を強化することが必要である。

## 【A委員】

プレミアム付商品券発行事業については、利用された店舗が755店舗、実施期間が2月末から6月まで、その期間の消費者物価指数を見てみると、令和3年は、98%から100.1%で、令和4年では、2月が100.7%、6月が101.8%であった。消費者物価指数が上がっている状態の中で事業の実施が出来た。

アンケートを実施した結果、「去年1年間と比べ売り上げが増加した」が49.4%、「変化なし」が40%であった。この「変化なし」というのもこのコロナ禍で下がらなかったというのは、高評価と私は思っている。客数は、44%が「増加」、「変化なし」が47%。客単価は、43%の企業の客単価が上がっているの、非常に効果的な事業であった。

原材料の高騰など一番物価が上がり始めたところで、特に3月～4月には進学、入学シーズンで家計負担が増えてくる中で、消費を落とさないということと、なかなか価格に転嫁できない中で、店舗面数、客数、商品アイテムが少ない中小規模を支えることもこれから必要である。

## 4 防府市中小企業振興基本計画の変更案について

### 【事務局】

～防府市中小企業振興基本計画の変更案について説明～

資料3-1、3-2

### 【副会長】

カーボンニュートラルの推進について、情報を提供しておきたい。いわゆる屋根貸し、「PPAモデル」であるが、工場であるとか、事務所の屋根に太陽光パネルを自社で設置するのではなく、再生エネルギーを販売している会社が設置し、発電した電気については、自社の所有物とはならないが、一定期間を過ぎれば、自分の会社のものとして使えるというような仕組みもある。

電気代はこれまでどおりだが、屋根の面積分の賃借料が入ってくる形で、あまり経済的な負担のないエネルギーを導入することも可能であり、一つの方法としてはあるのではないかなと思う。

## 5 その他

### 【事務局】

～マイナンバーカードの周知について～

チラシによる説明

## 【市長】

～閉会 挨拶～

本日は貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。

事業承継については、創業も含まれるという意見、金融面では資金面が大切だとのこと意見を伺った。しっかりと取り組んでいきたい。一方で、税制は大きな問題であるので、いろんなところで要望をしてまいりたい。

製品の改革については、山口県は素材が産業であり、何十年も前から技術は高いけれども売り方が下手だと言われている。これについても、事業者が儲かるための仕組みについて考えていきたい。地産地消であるのに、なぜ東京で売するのか。東京の新宿で売っている梨が山口県ではこんなに安いということをしてPRすることで地元の消費を増やし、地産地消を始めているところもあるので、そういった観点からも改革していきたい。

また、人財活躍事業については、高齢化社会の中で、大変大きな問題であると考えている。そうした中で、中小企業者には国、県の支援があるが、小規模事業者の支援については市の役割だと思っているので、しっかりと取り組んでいきたいと思っている。

イベントについては、市としても様々なイベントを行うが、それを1年間やっていくためには、民間の力が必要である。商工会議所をはじめ、皆様方の力が必要。行政の役割としては場を提供することであると考えてるので、駅周辺を整備して、ここでイベントをしたいというまちづくりをしていきたい。

カーボンニュートラルについては、国の流れ、県の流れと一緒に様々な取組をしていきたい。

マイナンバーカードについて、防府市は先週で申請者が70%を超え、県下ではトップ。このような中で、各種証明書の交付価格を150円に統一した。市民の皆様はその利便性を分かっていただけのものであると思っている。

カーボンニュートラル、デジタルについても、遅れていても県内ではトップで行こうという意気込みで頑張っていきたい。

今日、計画をお示しさせていただいた。令和7年度まで計画に沿って進めていくが、経済が一番であるので、臨機応変に、委員の皆さまの意見を頂き、それに合わせる形で実施していきたい。

## 【事務局】

以上で、令和4年度第2回中小企業振興会議を終了する。

会議終了 正午